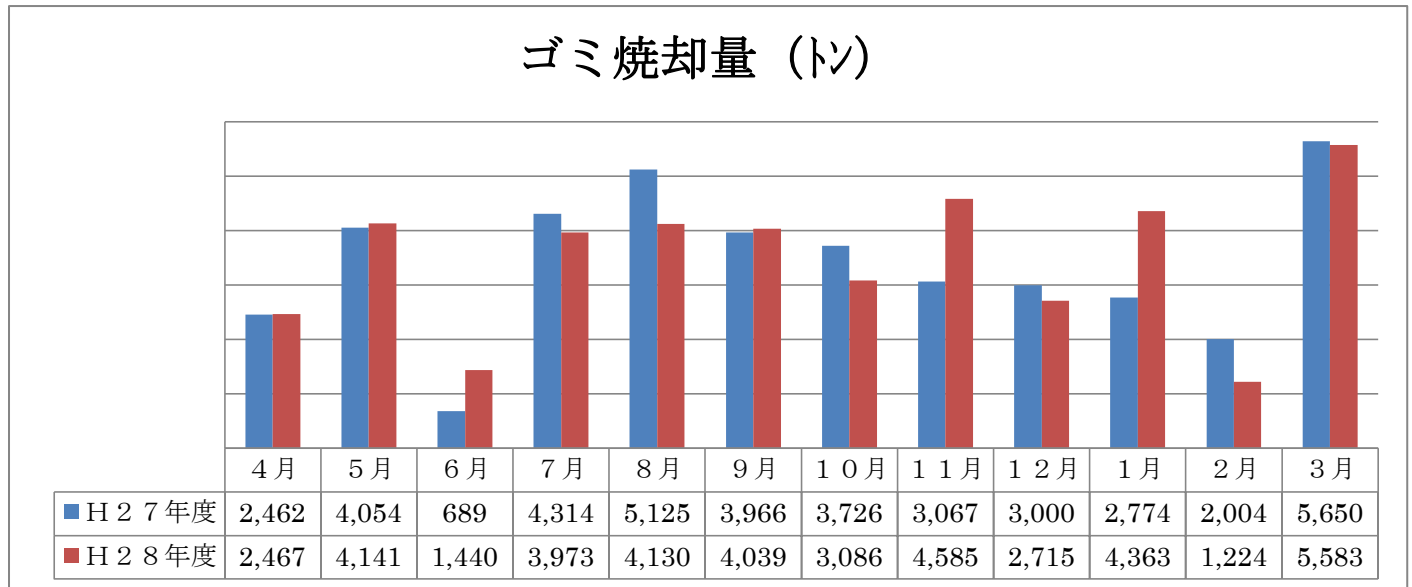


平成 29 年 3 月度 : 「ゴミ焼却量」「プラ混入率」「CO₂排出量」

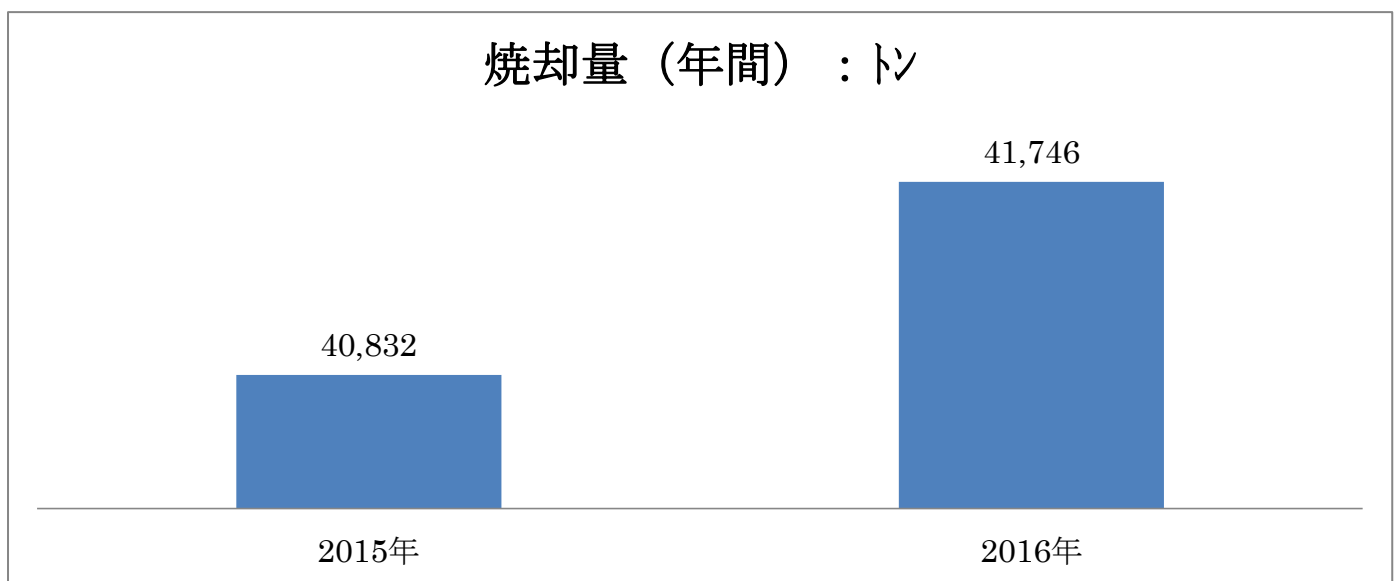
2017-5-20
温暖化防止ながれやま
可燃ごみ減量PJ
春田育男

1、 ゴミ焼却量



*3月のゴミ焼却量は、年度内で最大量であった。

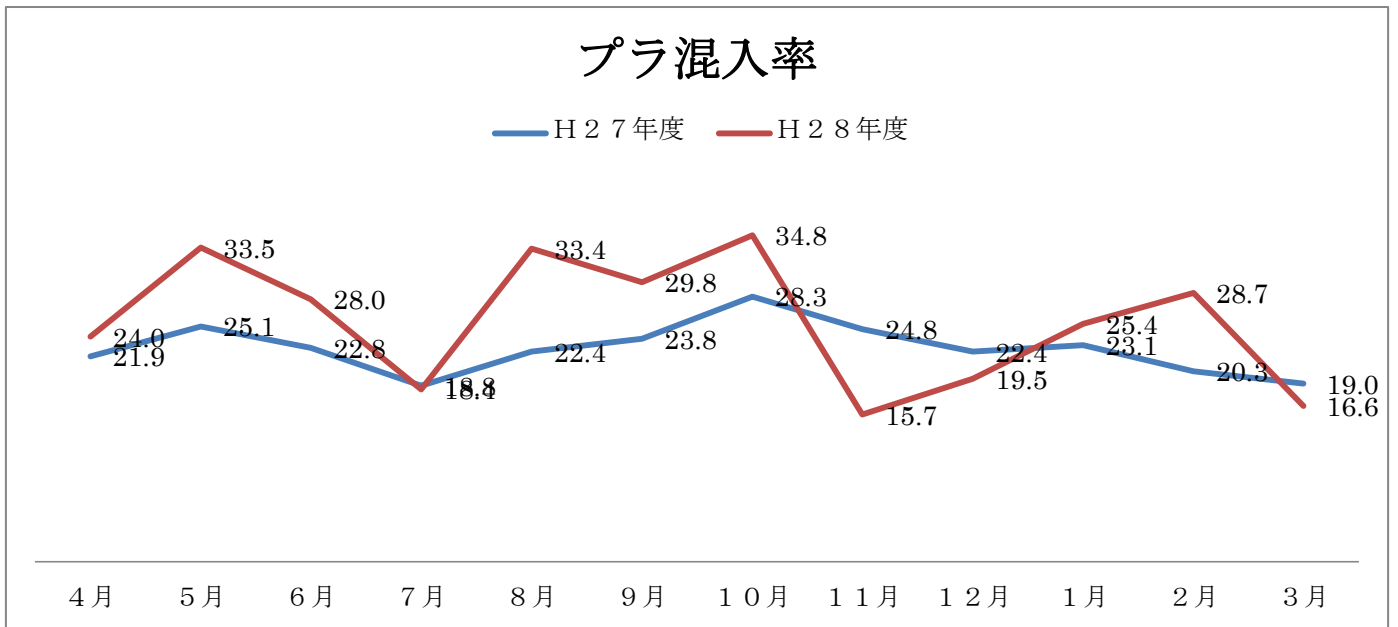
*3月の焼却量は180トン/日で、3炉フル稼働であった。(稼働率：87%)



*2016年度の年間ゴミ焼却量は、前年度の102%に相当する。

*問題点は、プラスチックの混入率が増加していることである。(下記)

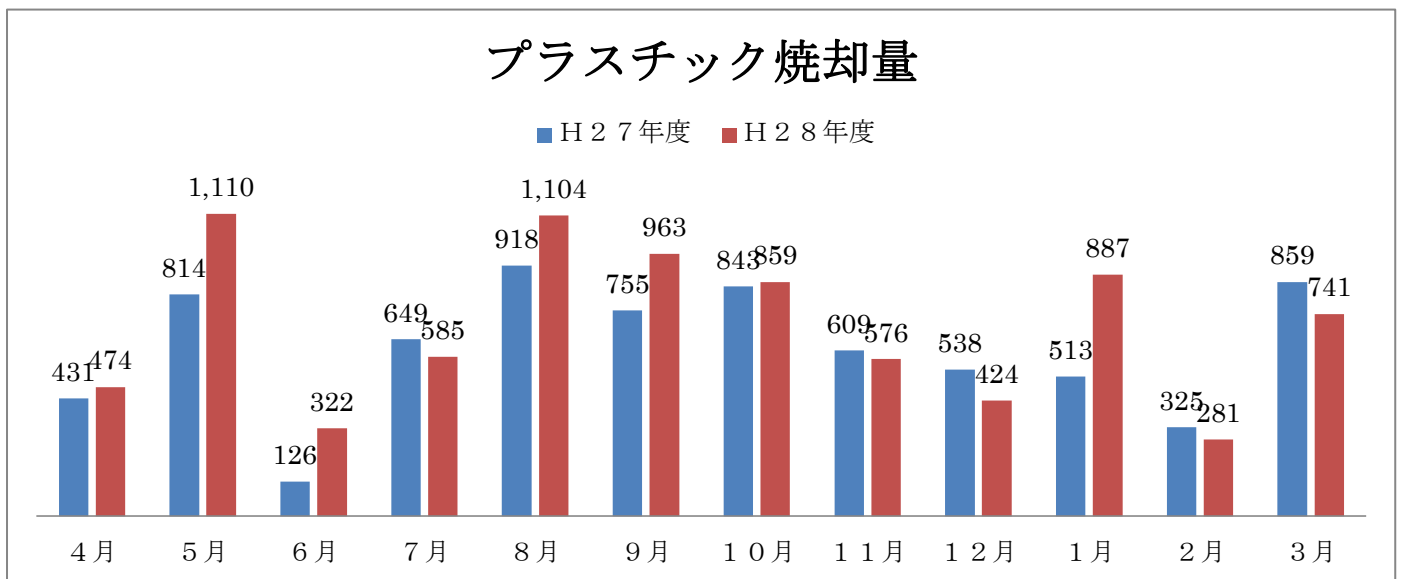
2、 プラ混入率



- *3月のプラ混入率は 16.6%で、前月（19.0%）、昨年（21.6%）より低減した。
- *年間の平均プラ混入率は 25.7%で、前年（22.7%）に対して 13%増加している。

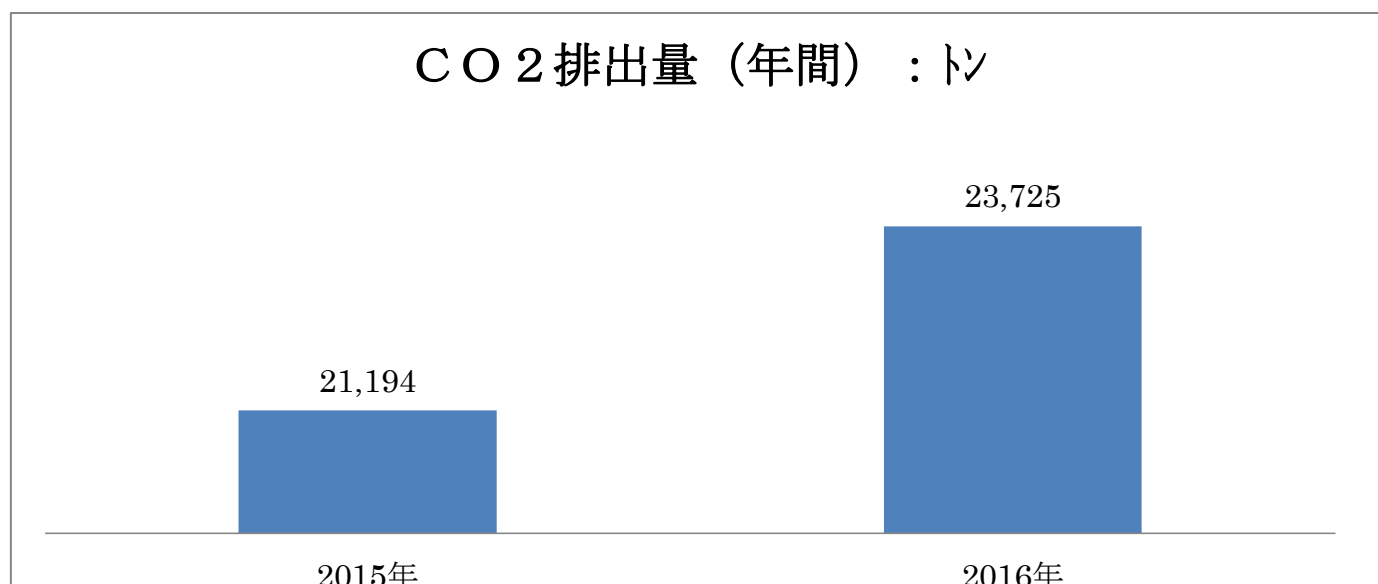
3、プラスチック焼却量

プラスチック焼却量＝ゴミ焼却量×プラ混入率×プラ水分含有率（80%）



- *3月のプラスチック焼却量は、プラ混入率は増加したが焼却ゴミの減量で減少している。
- *年間のプラスチック焼却量は、8, 325 トで、昨年（7, 380 ト）に比べ 13%増加している。

4、CO₂排出量（t-CO₂）



*2016年の年間CO₂排出量は、昨年に比べ12%増加している。

（注）流山市クリーンセンター全体からのCO₂排出量は、
上記数量に下記を加えた値となる。

- ①購入電力量に伴うCO₂排出量
- ②燃料（灯油、LPG、軽油など）使用に伴うCO₂排出量